

8 防災行政

(1) 防災訓練の実施

市町村、防災関係機関と連携し、以下の訓練を実施した。

- ア 土砂災害・全国統一防災訓練（6月1日）
- イ 豪雨災害対応防災訓練（6月6日）
- ウ 広域災害を想定した総合防災訓練（8月31日）

(2) 大規模地震対策の推進

東日本大震災に伴う震災対策検証委員会による110項目の提言等を受けて、新たな施策の追加、拡充を行い、平成23年10月に「第二期岐阜県地震防災行動計画（平成23年度～27年度）＜改訂版＞」を策定した。「自助・共助・公助」の考えのもとに、県民、事業者、市町村及び県が、それぞれの役割と責務を着実に果たしていくものとしており、以下の事業を実施。

ア 岐阜県南海トラフの巨大地震等被害想定調査の実施

予想される最大の地震被害を、県独自の地盤データなどの最新値に基づき算定。
平成25年2月に最終報告を実施。

イ 岐阜県防災フェアの実施

新規事業として、県内5圏域のショッピングセンターなどにおいて、家族連れで気軽に参加できる体験イベント「岐阜県防災フェア」を開催。平成26年8月～10月に県内7カ所で実施。参加者32,000人。

ウ 啓発活動の実施

平成21年度から「自助実践200万人運動」、平成25年度からは「災害から命を守る岐阜県民運動」として、県民一人ひとりの「災害から命を守る」自助意識の高揚を図る防災啓発キャンペーンを実施。

県内5圏域における地震体験車を活用したリレーキャラバン、シェイクアウト訓練を実施するとともに、のぼり旗・法被等を制作し、各種イベントやPRに積極的に活用。

広域防災センターにおいては、煙、消火器、地震などの各種体験、パネル展示等を通じて、防災知識の普及向上に努める。

地震体験車利用状況（過去5年の利用状況）

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
利用者数（人）	25,763	22,710	19,863	17,991	25,614

※ 平成20年6月に新しい地震体験車導入

(3) 地域における「共助」の推進

地域における防災力強化に関する重点政策として、以下の事業を実施した。

ア 岐阜県総合防災リーダー育成講座の実施

地域の防災リーダーとして活躍の期待される方を対象に、防災に関する総合的な知識を習得する研修を実施。参加者128人。

イ 災害図上訓練の指導者養成研修及びスキルアップ研修の実施

住んでいる地域の過去の災害発生場所や危険箇所のほか、避難所や要援護者の確認など、地域の防災に関する重要な情報を地域で共有する訓練を促進。指導者養成研修は、平成27年1月～2月に県内3カ所で実施。参加者185人。スキルアップ研修は平成26年5月に県内3カ所で実施。参加者209人。

ウ 避難所運営の指導者養成研修の実施

避難所の運営を疑似体験させることで、平時から避難所の運営を実践できる人材を育成する。平成26年7月～9月に県内4カ所で実施。参加者167人。